

充実のスケジュール

1日目	8月26日(金) 午前 結団式・事前研修会 午後 羽田→北京→パオトウ→ダラトキ
2日目	27日(土) 午前 現地の若者たちとの植林作業(ダラトキ) 午後 過年度植林地視察 夜間 夕食交流会
3日目	28日(日) 午前 現地の若者との意見交換会 ダラトキ→パオトウ 午後 パオトウ→北京→豊寧滿族自治県
4日目	29日(月) 午前 過年度植林地視察 午後 豊寧滿族自治県→北京
5日目	30日(火) 午前 中華全国青年連合会幹部表敬訪問 故宮、北京市内見学 午後 日中青年フォーラム 夜間 夕食交流会
6日目	31日(水) 午前 北京→羽田 午後 解団式

※期間中の宿泊先はビジネスホテルを想定しています。

※30日の「日中青年フォーラム」では、日中青年交流60周年記念にちなみ、中華全国青年連合会など関係機関の協力のもと、中国の働く若者や学生などと環境問題、ボランティア活動、社会貢献についての日中相互の事例発表とシンポジウム・意見交換会を実施します。

内モンゴル自治区ダラトキ

モンゴル人民共和国との国境に接する中国北部にある地域。ほとんどが海拔1,000m前後の高原地帯で、ゴビ沙漠やオルドス高原などがあります。ヤギやウマ、ラクダなどの牧畜業が盛んで、石炭や鉄鉱石、レアアースなどの宝庫とも言われています。

河北省豊寧滿族自治県

河北省の北側に位置し古来は少数民族の遊牧地で、1987年に滿族自治県に制定されました。典型的な放牧業地域ですが、かつては激しい砂地化や洪水、土石流災害などで生産が安定しない状況が続きましたが、日中共同の緑化事業により大きく改善されました。日本青年団協議会は2014年までこの地で沙漠緑化事業を行い、現在は同省唐山市遷西県で実施しています。

参加者の声

李 瑞芳さん

私は22歳です。高校時代から実は植林事業についていろいろ聞いていましたし、植林活動にも参加していました。植林事業を通じて、私たちの世代の仲間は環境保全の意識がますます高まっています。植林事業は私たちの実生活において間違いなく、積極的な役割を果たしています。

私たちは植林活動の影響を拡大して、さらに広げていきたいと思えます。みなさんの力を借りてこの沙漠をオアシスにし、地球をより美しいものにしていきたいです。

樋口 拓さん

この活動の意義は2つあります。国境をこえすべてがつながった中で行われる活動であること。そして、時間と共に成長していく活動であるということ。沙漠の何もなかったところに木を植えて森をつくっていく。これをきちんと自分の目で見て、直接体験をしながら皆さんと一緒に汗を流しながら経験をしていくことがすごく大きな意義です。

沙漠に木を植えると生き物が集まって来る。そこに草が生えたり、虫が集まったり、鳥がきたり、動物がきたり、そして人が戻って来る。そうして命の密度が上がっていくのかなと思います。

参加申込書

ふりがな	(姓) ローマ字
氏名	(名) ローマ字
所属団体	生年月日
同上役職	性別
ふりがな	
現住所 〒	
都道 府県	
自宅電話	携帯電話
FAX	メールアドレス
パスポート No.	パスポート 有効期限

※申込に関わる個人情報の取り扱いについて | 本申込書に記載された個人情報は、主催者を経て、旅行業者が渡航手続きのために使用致します。また、運営上必要がある場合には主催者の判断で①氏名、②所属団体、③性別、④都道府県の4点を公開することがありますのでご了承ください。